

加茂学区まちづくり推進委員会

委員長 小林 弘志

（問合せ先） 084-972-5541（加茂公民館）

事業内容

- (1) 第24回加茂ふれあい文化祭 作品展（11月8～14日）
- (2) 公共施設のあり方を考える（通年）
- (3) まちづくり推進委員会運営事業（通年）
- (4) 記念行事基金積立事業
- (5) コミュニティ育成事業（通年）
- (6) 第12回加茂知っとる検定（2月5日、6日）
- (7) 加茂谷の史跡めぐり（2月27日）
- (8) 子ども会書道大会（11月1日）
- (9) 第12回加茂学区駅伝・マラソン大会（11月21日）
- (10) しめ縄づくり（12月19日）
- (11) お年寄りをお招きする会（3月15日）
※コロナ禍のため会の開催は中止し、中学生が老人クラブ会員に手作りのマスクケースを進呈
- (12) 学校・家庭・地域が連携できる組織づくり
（安全確保対策メール配信システム登録依頼のちらしを自治会加入世帯全戸に配布）
- (13) 花いっぱい運動（6月6日、12月5日）
- (14) 学区見守り活動
（通学路を表示する旗の設置、見守りボランティア募集チラシを自治会加入世帯全戸に配布）
- (15) 家庭ごみの分別の周知徹底（啓発ちらしを自治会加入世帯全戸に配布）
- (16) 飼い犬の糞の処理対策（啓発ちらしを自治会加入世帯全戸に配布、啓発看板の設置）
- (17) グラウンドゴルフ大会（7月21日、10月9日）
- (18) 救命救急法講習会（12月5日）
- (19) 成年後見制度の理解と推進（講演会 2月20日）
- (20) 「ペタンクゲーム」を楽しもう（10月3日）
- (21) 認知症講座（2月20日）
- (22) 健康づくり講座（10月9日）
- (23) 高齢者が多くの人とふれあえる場の提供
（囲碁将棋大会等 9月19日、3月15日）



花いっぱい運動
（6月 花の植替え作業）



学区見守り活動
（通学路を表示する旗の設置）

成果

協働のまちづくりは学区に浸透し自主的な活動ができており、まちづくり計画に基づく事業の目的はほぼ達成されている。

今年度はコロナ禍のもと中止せざるを得ない事業もあったが、それぞれ工夫を重ね感染症防止対策をしながら少人数でも開催する努力をした。

課 題

高齢者対象の事業も多く、多方面に配慮したウイズコロナでの事業実施と、各民主団体を含めた事業実施団体の後継者づくりが必要である。

課題解決にむけて

- ・市や県のウイズコロナでのマニュアルを参考に対応を考える。
- ・PTA役員経験者と民主団体との連携及び情報交換

加茂学区のまちづくり-コロナ禍の中での取り組み-

コロナ禍の中でも、できることを考えて

2020年度、加茂学区では予定していた事業のうち5事業が中止となりましたが、コロナ禍の中でもできることを考え、感染症予防対策を取りながら残りの事業を実施しました。

加茂ふれあい文化祭



例年、加茂ふれあい文化祭は加茂中学校を会場にして芸能大会・作品展示・模擬店等を行っています。第24回は規模を縮小し、作品展示のみ行いました。

密を避けるため公民館の会議室に会場を変更し1週間にわたって開催。延べ200人以上の来場がありました。

加茂知っとる検定



一般参加者を福山市在住、在勤者に限って実施。

加茂中学校1年生、小学校6年生を合わせて191人が受験し、6年ぶりに全問正解者も出ました。

加茂谷の史跡めぐり



近年、マイクロバスを使って、加茂学区の史跡のほか、学区外の加茂にゆかりのある施設等を回っていましたが、原点に戻り徒歩で学区内の史跡をめぐりました。

このほかにも「お年寄りをお招きする会」の開催はできませんでしたが、何か交流できないかと考え、手作りのマスクケースを、老人クラブを通じて地域の高齢者にプレゼントするなど、各主管団体が創意工夫しながらの事業開催となりました。